

## 令和7年度 インターンシップアンケート結果

### ① 本市のインターンシップに参加した満足度はどうでしたか？

評価項目	回答数
不満	0
やや不満	0
普通	1
やや満足	1
満足	23

### ② ①でそのように回答された理由は何ですか？

市役所で働く方々の姿や業務に対する心構え、職員の方々の話を聞いて、市役所の業務についての理解が深まり、以前よりも一層強く市役所の仕事に携わりたいと考えることができたから。

HPなどを見るだけでは分からなかった仕事内容を体験することができたり、職員の方から実際に話を聞くことができたから。様々なことを経験でき、市役所について学ぶことができた。

自分が知らなかった大田原市の魅力を知ることができた。また、大田原市の政策について理解を深めることができた。文化財をどのようにして観光資源とするかを身近で感じることができた。

職員の方々がとても優しく丁寧に仕事を教えていただけただけからです。また、実際に市役所の職員として働くということのイメージがこの5日間でしっかりとできたからです。

実際の業務を通して具体的にどんなことをしているか理解が深まった。また普段知り得ないような行政の背景を見れて知見が広がったと思ったから。

業務内容や実際の現場、作業の様子などを見学したり、職員の方々とお話しする時間がたくさんあったり、参考になるお話や市役所で働くことへのイメージなどがわかり、とても勉強になったと感じているから。

職員の方々と実際の業務を体験させて頂いて、身近ながらも今まで知らなかったことを多く知ることができたため。

### ③ インターンシップで最も印象に残ったことは何ですか？

1番は自分が想像していた以上に様々な業務があったこと。市民の皆さんのために課の方々やほかの部署の方々と連携しながら業務にあたっていて、とても勉強になった。

農政課に配属され仕事をしたなかで、農家の方など地域の人と関わって一緒に仕事をするが多かったこと。地域の田んぼや畑の状況を調査するのを農家の方などと一緒に行ってこのような形でも市民とのかわり方があるのだと印象的でした。

地域の課題を見つけて解決策を考え、スライドにまとめて発表したことです。外出の際に感じたことや解決できそうな箇所がいくつかあったのでそれを発表として聞いてもらい、講評していただけたのはとても勉強になり印象に残っています。

大学で学んだ「流体力学」でマンシングの公式というのがあり、下水の流量の計算に実際に使われていて、大学で学んでいることが実際に現場で活用されていることが実感できた。

生活保護のケース訪問です。今まで、生活保護を受給されている方と関わる機会がなかったのが、貴重な経験ができたなと感じています。事務作業や窓口だけではなく、外に出て市民の方々と直接関わるという体験ができたことが印象に残っています。

新築の完了検査立会や市の施設の見学などの現場見学において建物の所有者や施設の管理者の方と話している様子を見てコミュニケーションが大切であると思いました。技術的な知識が最も重要だと考えていたので印象的でした。

④ 本市職員の対応・指導はどうでしたか？

評価項目	回答数
悪い	0
あまり良くない	0
普通	1
良い	3
とても良い	21

⑤ 本市のインターンシップを知ったきっかけは何ですか？（複数回答）

きっかけ	回答数
ホームページ	22
大学	0
友人	1
親	2

⑥ インターンシップの実施時期・期間はどうでしたか？

実施時期	回答数	実施期間	回答数
適当である	25	適当である	24
他の時期が良い	0	短い	0
		長い	1